



は7月30日、神戸市中央区のANAクラウンプラザホテル神戸で定期総会を開催した。

冒頭、佐藤匡良会長(写真)は「高騰する諸経費を製品価格へ転嫁するには、価値ある製品・品質・サービスの提供が不可欠だ。充実した補修工法群、数多い専門技術資格取得者といった強みを活かし、業界全体の利益確保、さらなる発展と成長の実現が当協会の使命だ。また、上下水道施設や橋梁といったインフラの老朽化に関わる技術開発・製品化を推進し、会員各位のビジネスチャンス拡大に貢献していく。加えて、労働力不足に対しては、省力化技術や工期短縮が図れる製品開発に一層注力していく」と挨拶した。

続いて議案審議に移り、すべての議案は可決承認された。新年度の事業計画として、人手不足による受注量減解消を目的としたシステムの構築、コンクリート防食技士資格取得者の増加を目指した独自資格認定試験による人材不足対策、技術研修会やセミナー開催などを掲げた。また、任期満了に伴う役員改選では佐藤会長が留任した。

当日は、同協会管路部会の総会も開催された。井上敬介部会長が「下水道業界が注目されており、異業種参入が活発で技術革新も加速している。時代の流れに遅れないためには、柔軟かつ迅速な対応が求められる。他団体にはない独自性を追求しながら、さらなる発展を目指す」と挨拶した。

その後の議案審議ではすべての議案が可決承認され、新年度の事業計画として、展示会出展を中心に部会の知名度向上を図るほか、審査証明を活用した啓発活動を推進する方針を掲げた。また、任期満了に伴う役員改選では井上部会長が再任された。

佐藤会長が留任

JER補改修協会

JERコンクリート補改修協会